

☆事業の背景・目的

・当署管内には7箇所、約86haの防風林があります。しかし、現在、防風林内では、明治・大正期より残る樹木の老齢化が進み倒木により疎林部が形成された孔状地の被害箇所が多く見られることから、健全な森林に導くための対策が求められています。

このことから、孔状地被害箇所の再生に向けた試みとして、3つの課題について着目しました。

1. 防風林内が鳥獣に適した生育環境であり、獣害被害対策の必要性
2. 隣接が農地であることから、住民の生活環境に配慮した手法
3. 下層植生の排除と保育作業の省力化

課題解消の取り組みとして、食害防止ネット及び下刈防止ネットを施工した対策について、検証を行うこととしました。

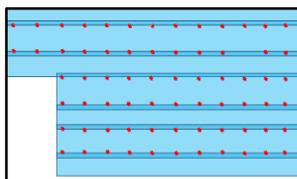


☆取り組み内容

【プロット設定】 全プロット 苗間・列間 1.5m

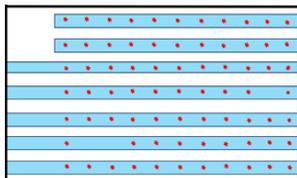
・プロット1 (植栽本数69本)

下刈抑制ネットを全面積に被覆
食害防止ネットを各植栽木に設置



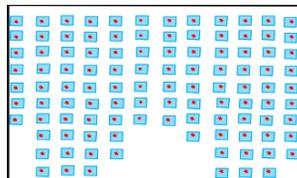
・プロット2 (植栽本数74本)

下刈抑制ネットを帯状に被覆
食害防止ネットを各植栽木に設置



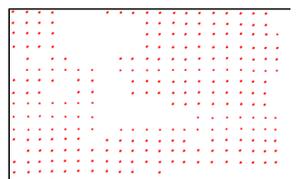
・プロット3 (植栽本数107本)

下刈抑制ネットを1.0×1.0の正方形に加工して被覆
食害防止ネットを各植栽木に設置



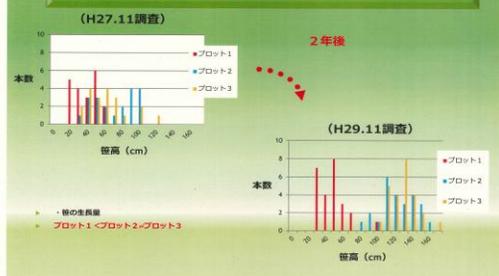
・プロット4 (植栽本数255本)

下刈抑制ネット・食害防止ネットを未設置



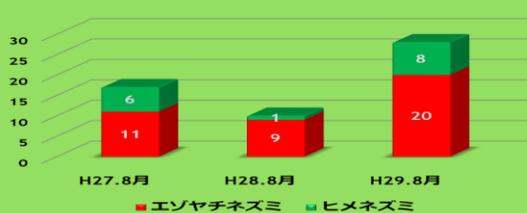
☆各種調査

ササの生長量調査



・食害被害の最も大きな原因であるエゾヤチネズミの個体数の把握を調査しました。

野鼠の捕獲数 (調査年度別)



☆今後の展開

・獣害防止や林業労働力不足の解消は喫緊の課題であります。これらの課題を解消するため、食害防止ネットや下刈抑制ネットを同時に施工を行いました。結果として、一部課題は残るものの、ある程度の効果を立証できたと考えます。

民有林においては、小規模で林業労働力不足問題を抱えた林家が多いことから、獣害対策と保育作業の省力化対策の問題解決に向けた「新たな施業方法」として各機関等に情報発信していきたいと考えます。